

(様式3)

事業所名 愛の家グループホーム伊那山寺

ユニット名 山ぼうし・若葉

作成日: 令和 5年 8月 8日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1	1	理念の揭示・新入職員とのオリエンテーション時に理念について共有と具体的な取り組みについて理解は深めてはいるものの、ホーム長・リーダーの体制が代わり事業所、ユニットで運営する上で大切にすることを話し合い、明確にする必要がある。	事業所、ユニットが大切にしているビジョンが明確になっている。	事業所全体、ユニット会議で「何を大切に運営していくか」を話し合う。ホーム長やリーダーが決めるのではなく、チームメンバー全員で意見を出し合い、事業所が大切にしているものや目標を決めていく。	6ヶ月
2	16	現在の相談窓口はホーム用のみとなっている。介護に携わるユニットリーダー、ケアマネジャーも一緒に窓口となり初期より関係性を深めていく必要がある。	入居前～初期にかけてホーム長、ユニットリーダー、ケアマネジャーが対面で話す機会を作り、入居者本人・ご家族が求めている介護とホームが提供できる介護を共有し、お互いに合意の上、入居して頂く。	入居案内～入居初日までの初期に必ずホーム長、ユニットリーダー、ケアマネジャーがご家族と対面でお話する場を確保する。	3ヶ月
3	26	ユニット全員でモニタリング、カンファレンスをしているが、コロナ禍の影響で、ご利用者やご家族との話をする機会が少ないように感じている。	プラン更新者、ご家族の意向を反映させる介護計画の作成。	ユニット全体でカンファレンスをする場に加え、ユニットリーダー、ケアマネジャー、家族、本人で今後の生活における求める支援、必要な支援を話し合い、ケアプランに反映させていく。	6ヶ月
4	4	コロナ禍の影響により書面のみの報告となっている。	参加者の整理を行い、対面で行う機会を設ける。参加者の意見を運営に反映させ、フィードバックする機会を作る。	参加者には対面での参加の呼びかけをするとともに、活動内容や現状報告、ホームが運営の中で大切にしていることを伝え、ご意見をいただく。ご意見を運営に反映させ、参加者にフィードバックしていく。	12ヶ月
5					ヶ月